

「最上の消防 × 羽州ぼろ鳶組」特別企画展

# 今村翔吾

作家・「羽州ぼろ鳶組」シリーズ 著者

## 羽州ぼろ鳶組国元座談会 第3弾

作家・今村翔吾が帰ってくる！ 新庄藩火消が活躍する時代小説「羽州ぼろ鳶組」シリーズの著者が国元である新庄に帰還、座談会を開催します。今回はスペシャルゲストとして、同シリーズのカバーイラストを担当する日本画家・北村さゆり氏をお迎えし、本の製作の過程・裏側など、ここでしか知ることのできない話をお聞きます。お楽しみに！

日本画家・「羽州ぼろ鳶組」シリーズ装画

# 北村さゆり

2019年

9月29日(日)

14:00 ~ 15:30

最上広域交流センター

ゆめりあもがみ体験館

(新庄市多門町1番2号)



北村さゆり氏

1960年静岡県生まれ。多摩美術大学加山又造クラス卒業。同大学院修了。文化庁新進芸術家国内研修員。静岡県文化奨励賞。村松友視、山本兼一との出会いがきっかけとなり、『利休にたずねよ』『三鬼』などの装画や挿絵を描き下ろす事となる。2017年より「羽州ぼろ鳶組」シリーズの装画を手がける。著書に『中世ふしぎ絵巻』。現在、朝日新聞の『歌壇俳壇』、『サライ』の「半島をゆく」、NHK『俳句テキスト』のカットを担当中。静岡県立美術館、山種美術館等に作品が収蔵されている。



今村翔吾氏

1984年京都府生まれ。ダンスインストラクター、作曲家、埋蔵文化財調査員を経て、専業作家に。「蹴れ、彦五郎」で第19回伊豆文学賞・最優秀賞、「狐の城」で第23回九州さが大衆文学賞大賞・笹沢左保賞を受賞。「羽州ぼろ鳶組」シリーズ『火喰鳥』で、第7回歴史時代作家クラブ賞・文庫書き下ろし新人賞を受賞し、時代小説界の新しい旗手に。第160回直木賞候補作『童の神』も話題。他に「くらまし屋稼業」シリーズなど著書多数。

「作家・今村翔吾の世界、  
画家・北村さゆりの彩」



●お問い合わせ

「最上の消防 × 羽州ぼろ鳶組」特別企画展

企画運営／一般社団法人とらいあ

<http://facebook.com/hikeshiborotobi>

0233-22-2189 (新庄市立図書館内)

